

図1. 利用可能な社会復帰施設

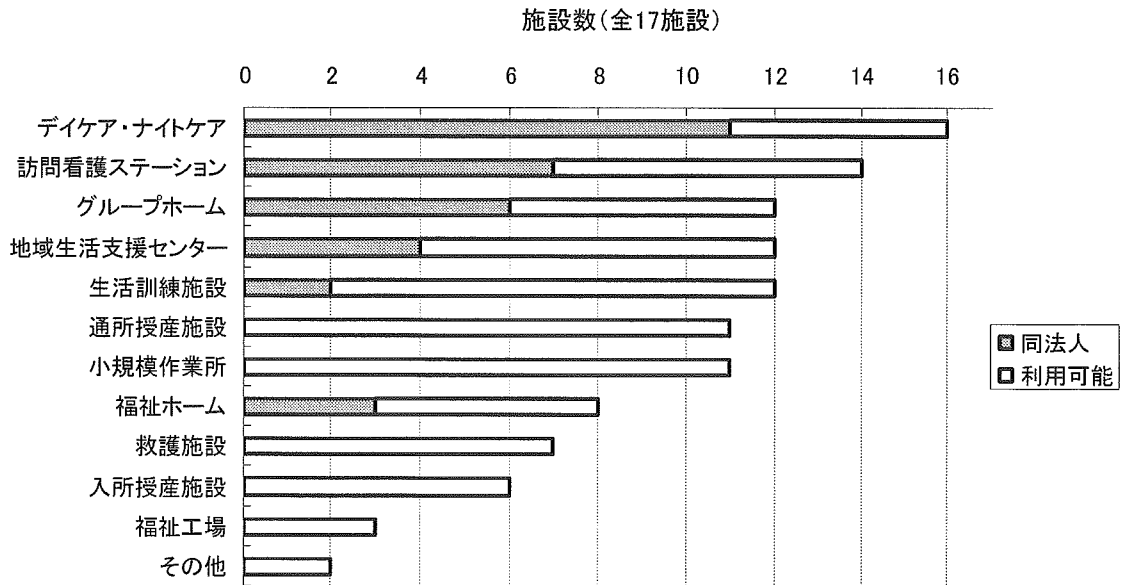


図2. 関連施設との連携の難易度 (18病棟)

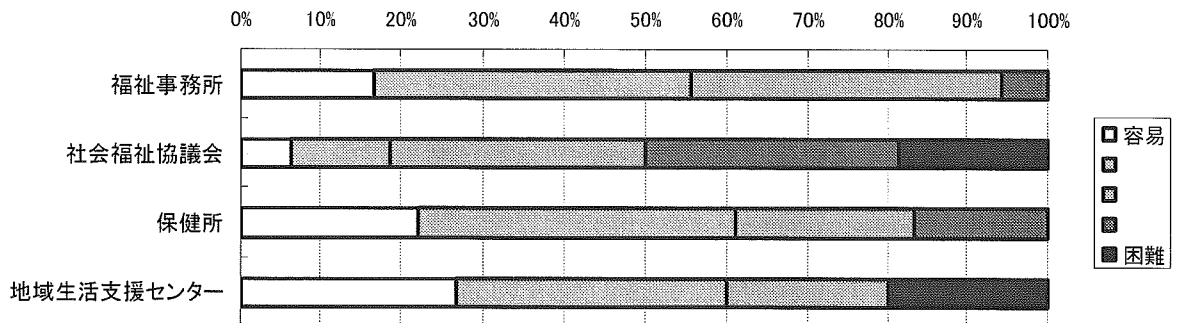
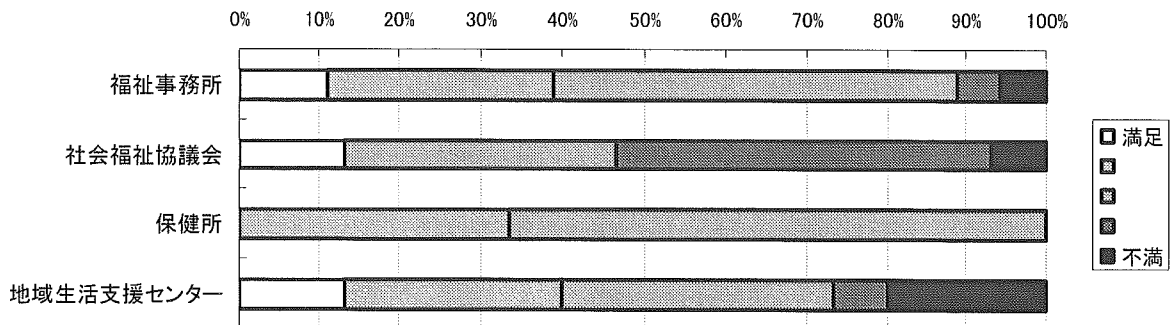


図3. 関連施設との連携の満足度 (18病棟)



病院における事例の治療・ケア手順

事例1

		時 間 軸									
		退院に向けた取り組みの開始時	ミーティング(2週後)	2週以後	ミーティング(2ヶ月)	2ヶ月以後	3ヶ月	3ヶ月以後	4ヶ月	退院前ミーティング	5ヶ月をめぐりに退院
医師 臨床心理士	内容	症状の把握 精神症状・能力障害・生活障害等のアセスメント	アセスメントの評価と今後のスケジュールの検討	薬物の副作用のチェック	これまでの治療経過をその評価について	当初と同じスケジュールを定めてのアセスメントとその評価	アバート決定 退院予定の決定 アバートへの外泊	アバート決定 退院予定の決定 アバートへの外泊	問題点の提起		
医師	内容	維持のために使用する薬物とその量の決定	薬物の併用	薬物の副作用のチェック	薬物とその量が適切であるかどうか	現状の薬物で	現状維持でいいか再確認	現状維持でいいか再確認	精神科デイケアの参加		
医師	内容	病気の病状・病歴についての認識の整理	評価の発表	病状に対しての振り返り(病状に対しての認識をもつこと)	病状をもつてどのようにしているか	今後についての考え方の整理	退院後の治療について	退院後の治療について	精神科デイケアの参加		
看護師 作業療法士	内容	生活技能に関する関わり(SSTなど)	日常生活の指導 個別関わりでのOT活動	生活指導 料理の活動に重点	病状生活・対人関係の問題 調理の能力は	料理の能力の向上	退院前にアバートを利用するのことも外泊時の訪問を行う	退院前にアバートを利用するのことも外泊時の訪問を行う	精神科デイケアの参加		
看護師 薬剤師	内容	病状についての認識の整理	評価の発表	病状の一般的なことに対する認識 処方について指導	病状の理解の程度は それによる変化は	足りない点の補強 薬剤の自己管理	地域での生活の仕方、まわりの人とかかわり方について	地域での生活の仕方、まわりの人とかかわり方について	薬師、OTから精神科デイケアへの依頼		
看護師 精神保健福祉士	内容	家族介入	評価の発表	家族についても病状の一般的なことについて指導	家族の理解と本人への接し方の変化は	家族の自己管理 外泊を実施	家族からの状態の観察について	家族からの状態の観察について			
精神保健福祉士	内容	院内手続	入院手続(形態によって)				外泊時の医療費について、32条について	外泊時の医療費について、32条について	地域生活支援センタースタッフ参加		
精神保健福祉士	内容	院外手続	予約の公表				家族と相談しアバートを辞す	家族と相談しアバートを辞す	訪問看護スタッフ参加		
その他	内容	その他									

退院後のサービス内容

	実施・紹介	目的・内容・時期など	担当職種
ミーティング	実施・紹介・無	退院後1ヶ月で生活状況について担当スタッフと行う	入院病棟看護師
訪問看護	実施・紹介・無	1週に1回病状の出現の有無、服薬の状況、日常生活についてチェック	訪問看護ステーション
ヘルパー 社会復帰施設	実施・紹介・無	必要に応じて依頼 地域生活支援センター、今後の生活、就労などについての相談	精神保健福祉士
その他	実施・紹介・無		〃

貴院における事例の治療・ケア手順  
事例2

担当職種	内容	時 間 軸				
		退院に向けた取り組みの開始時	ミーティング(2週後)	2週以後	ミーティング(2ヶ月)	3ヶ月
医師 臨床心理士	検査・診断	状態のアセスメント 精神障害能力障害について 心理テスト	これまでの治療経過の評価 “生活訓練施設”入所	方向性の決定 “生活訓練施設”入所	医院予定の決定	施設から地域生活支援センターに通うことにする
医師	薬物治療	調整計画	薬物の検討	副作用の検討	“	“
医師	精神療法	病的体験の経度とそのこと にとらわれている経緯につ いての調査	現在の自分の状態について の認識	発症以来の症状についての 振り返り	今後についての考え方の整 理	問題点の提起 社会訓練施設スタッフ参加
看護師 作業療法士	生活技能に関する 関わり(SSTなど)	アセスメントをもとにして働き かけの検討	対人関係、外に向けての意 気はどうか 集団に適合できるか	対人関係のもち方を中心に 働きかけを行う でのOT活動で導入	訓練施設での生活を前提と した指導 料理についてのOT	問題点の提起 施設から外来、OT通所
看護師 薬剤師	心理教育・服薬指導 仕方を検討	アセスメントをもとに指導の 仕方を検討	病気に対しての認識の程度 は 服薬についての理解の程度 は	病状一般についての指導計 画 一般的な服薬指導	社会生活の仕方について 怠業と再発について	問題点の提起
看護師 精神保健福祉士	家族介入	オバの病気に対しての理解 の程度と今後の関わりをど う考えているか	病状にかかわりがある程度 と判断	家族のかかわりがあり期 待できないと判断	今後の家族とのかかわりに ついて	施設と家族のかかわりに ついて
精神保健福祉士	院内手続	現在利用できる制度を調べ る。			訓練施設との橋渡し	退院時の手続
“	院内手続				施設を利用するについての 手続きについて	地域生活支援センターの利 用の仕方
その他	その他				訓練施設への体験入所 3 回実施	地域生活支援センタース タッフ参加

退院後のサービス内容

	実施・紹介		目的・内容・時期など		担当職種
	実施	紹介	実施	紹介	
ミーティング	○	○	1ヶ月後 施設での生活状 況の検討	施設 精神保健福祉士	
訪問看護	○	○			
ヘルパー	○	○			
社会復帰 施設	○	○	入所		
その他	○	○	地域生活支援センター利用 外来 OT通所	センター スタッフ 院内作業療法士	

貴院における事例の治療・ケア手順

事例3

担当職種	内容	時間軸							4ヶ月	通院時ミーティング(5ヶ月)
		退院に向けた取り組みの開始時	ミーティング(2週間後)	2週間以後	ミーティング(2ヶ月)	3ヶ月	4ヶ月			
医師 臨床心理士	検査・診断	症状の把握 精神状態、生活能力をアセスメント	アセスメントの評価と今後のスケジュールの検討	アセスメントの評価と今後のスケジュールの検討	これまでの活動経過とその評価	方向性の決定 在宅で就労を目指す	退院 就労の準備	在宅、就労時の問題点		
医師	薬物治療	現在使用中の薬物の検討	薬物の種類と量の検討	副作用のチェック	薬物の評価	"	"	薬物の影響はないか		
医師	精神療法	病気に対しての認識の程度について	評価と方針の決定	発病以来の症状についての振り返り	現在の自分の状態についての認識はどうか	患者さんとのミーティング今後についての確認	就労に向けて指導	病氣全般についての改善の程度について		
看護師 作業療法士	生活技能に関する関わり(SSTなど)	アセスメントをもとにした関わり(もち方、働きかけ)についての検討	病棟での生活指導 OT活動の検討	意欲ない状態に対しての働きかけ 個別的なOT活動導入	生活能力、作業能力の評価	病棟内での対人関係の持ち方 個人作業の導入	就労に近い所での生活、作業の導入	本人の能力は退院、就労に達しているか		
看護師 薬剤師	心理教育・服薬指導	病気に対しての教育 薬についての教育を計画	病氣一般についての指導計画 一般的な服薬指導	病氣をどのように認識しているか 薬の副作用の説明	病氣についての服薬の必要性 についての理解の程度	家での生活の仕方 家人との関係の持ち方 薬物自己管理	再発について 再発と薬との関係	病氣、服薬についての問題点		
看護師 精神保健福祉士	家族介入	家族の中でキーパーソンの役割をこなす人は誰か	家族全員について 病氣についての教育	今後御みてもらうであろう オジさんへの説明	家族の会に対しての理解度 はどうか	外泊開始	外泊時訪問看護により家族 を交えてのミーティング	家族、親類、就職先の問題点 は		
精神保健福祉士	院内手続	入院中の制度利用についての検討					退院時の制度の利用検討	外来、通院治療について 32案について		
"	院外手続	退院後の制度利用についての検討		オジさんの職場の仕事の内容 について調査			外泊寺訪問	訪問看護実施について		
	その他						出来れば就労先への外勤	訪問看護ステーション参加		

退院後のサービス内容

	実施・紹介		目的・内容・時期など		担当職種
	実施	紹介	実施	紹介	
ミーティング	実施	無	家での生活、就労の状況について		訪問看護ステーション
訪問看護	実施	無	家族との関係の調整		訪問看護師
ヘルパー	実施	無			
社会復帰 施設	実施	無			
その他	実施	無			

貴院における事例の治療・ケア手順

事例1

		時 間 軸				
担当職種	内容	退院に向けた取り組みの開始時	1か月後	2か月後	3か月後	退院
	検査・診断					
担当医	薬物治療	デボ剤の使用を検討	可能であればデボ剤の使用を開始	継続と評価	継続と評価	
担当医	精神療法	二重見当識の獲得により、服薬の安定を図る。	継続	継続	継続	
看護師, 作業療法士, 心理職	生活技能に関する関わり(SSTなど)	単身生活に必要な生活技能の獲得状況を評価する。	必要とされた生活技能の訓練を行う。	デイケアプログラム(SSTを含む)を活用する。	試泊	
担当医, 心理職, 薬剤師, 看護師	心理教育・服薬指導	NS管理から自己管理へ				
SW	家族介入	家族の意向確認	退院先の決定			
SW	院内手続	ケア会議		ケア会議		退院時ケア会議
SW, 担当看護師	院外手続			手帳の申請の検討	住居探し	買い出し
SW	その他	経済状態の確認	デイケア(就労支援を含む)への導入を行う。		訪問やヘルパーの利用検討	

退院後のサービス内容

	実施・紹介	目的・内容・時期など	担当職種
ミーティング	(実施)・紹介・無	1ヶ月以内に、地域で困ったことないか、病状は安定しているか、などを確認	担当医, 訪問看護師, デイケアスタッフ, 家族
訪問看護	(実施)・紹介・無	2週~1ヶ月程度で、服薬管理できているか、部屋が生活しやすいかなどを確認	訪問看護師
ヘルパー	実施・(紹介)・無	本人に利用意志があれば、生活技能UPのため利用	SWからヘルパーへ紹介
社会復帰施設	実施・(紹介)・無	本人に利用意志があれば、支援センターや作業所を紹介	担当SW, 支援センター職員
その他	(実施)・紹介・無	通院公費負担の申請	担当SW

貴院における事例の治療・ケア手順

事例2

担当職種	内容	退院に向けた取り組みの開始時期	時間軸					6ヶ月	退院時
			1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月		
担当医	検査・診断								
担当医	薬物治療	維持療法の検討と投薬内容の決定。	継続と評価	継続と評価	継続と評価	継続と評価	継続と評価	継続と評価	
担当医	精神療法	支持的精神療法により、安心感を補強する。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
看護師, 作業療法士, 心理職	生活技能に関する関わり(SSTなど)	単身生活に必要な生活技能の獲得状況を評価する。	必要とされた生活技能の訓練を行う。	必要とされた生活技能の訓練を行う。	外泊の開始	定期的な外泊	定期的な外泊	定期的な外泊	
担当医, 心理職, 薬剤師, 看護師	心理教育・服薬指導	Ns管理から自己管理へ							
SW	家族介入	家族の意向確認	退院先の決定						
SW	院内手続	ケア会議	ケア会議	ケア会議					退院時ケア会議
SW, 担当看護師	院外手続		自宅の状況を把握し、居住環境を整備する。	手帳の申請の検討					
SW	その他	経済状態の確認	デイケアへの導入を行う。	外泊時の訪問看護とデイケアの利用	外泊時の訪問看護とデイケアの利用	外泊時の訪問看護とデイケアの利用	外泊時の訪問看護とデイケアの利用	外泊時の訪問看護とデイケアの利用	

退院後のサービス内容

	実施・紹介		目的・内容・時期など	担当職種
	実施	紹介		
ミーティング	○実施	○紹介	1ヶ月以内に、地域で困ったことないか、病状は安定しているか、などを確認	担当医, 訪問看護師, デイケアスタッフ, 家族
訪問看護	○実施	○紹介	2週~1ヶ月程度で、服薬管理できているか、部屋が生活しやすいかなどを確認	訪問看護師
ヘルパー	○実施	○紹介	本人に利用意志があれば、生活技能UPのため利用	SWからヘルパーへ紹介
社会復帰施設	○実施	○紹介	本人に利用意志があれば、支援センターや作業所を紹介	担当SW, 支援センター職員
その他	○実施	○紹介	通院公費負担の申請	担当SW

貴院における事例の治療・ケア手順

事例3

担当職種	内容	時間軸				退院
		1カ月後	2カ月後	3カ月後		
	検査・診断	退院に向けた取り組みの開始時				
担当医	薬物治療	維持療法の検討と投薬内容の決定。	継続と評価	継続と評価		
担当医	精神療法	二重見当識の獲得により、服薬の安定を図る。	継続	継続		
看護師、作業療法士、心理職	生活技能に関する関わり(SSTなど)	日常生活における生活技能の獲得状況を評価する。	必要とされた生活技能の訓練を行う。	デイケアプログラム(SSTを含む)を活用する。	継続	
担当医、心理職、薬剤師、看護師	心理教育・服薬指導	NS管理から自己管理へ				
SW、担当医	家族介入	家族の意向確認とリハビリテーション計画の作成および説明。	退院先への決定。家族に対する疾病教育を行い、理解を深め、協力体制を樹立する。	家族に対する疾病教育を行い、理解を深め、協力体制を樹立する。	継続	
SW	院内手続	ケア会議		ケア会議		退院時ケア会議
SW、担当看護師	院外手続			手帳の申請の検討		
SW	その他	経済状態の確認	デイケア(就労支援を含む)への導入を行う。			

退院後のサービス内容

	実施・紹介	目的・内容・時期など	担当職種
ミーティング	実施・紹介・無	1ヶ月以内に、自宅で困ったことないか、病状は安定しているか、などを確認	担当医、デイケアスタッフ、家族
訪問看護	実施・紹介・無		
ヘルパー	実施・紹介・無		
社会復帰施設	実施・紹介・無	本人に利用意志があれば、支援センターを紹介	担当SW、支援センター職員
その他	実施・紹介・無	通院公費負担の申請	担当SW

貴院における事例の治療・ケア手順

事例1

担当職種	内容	時 間 軸					3ヶ月目	退院
		退院に向けた取り組みの開始時	2週目	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目		
	検査・診断							
	薬物治療							
	精神療法	退院・アパート生活への動機付けの強化 病棟プログラム(生活クラブ・JOBクラブ)、OT			振り廻りとアパート退院の方針の決定	病状管理・危機対応について		
	生活技能に関する関わり(SSTなど)					試験外泊(業泊まりー長期)		
	心理教育・服薬指導	NS手渡してからNRの薬を自分で服薬(青かご管理)	服薬教室(毎週1回:4回1クール)	「配薬車」の薬を自分で服用(ボックス管理)	服薬ベットのサイド自己管理、個別の服薬指導			
	家族介入	家族合同面接(両親、姉家族): 家族の意向の確認	家族教室(2週に1回:3回1クール)		可能なら家族SST(院内全体のプログラム)	家族合同面接		
	院内手続	病棟カンファレンス(方針の確認)			病棟カンファレンス(評価と方針の確認)	デイケア申し込み、退院前カンファレンス		
	院外手続	手帳の申請、年金申請の検討	保健師と連絡		アパート探し・決定、家具道具等の準備	退院前訪問、ヘルパー導入の検討		
	その他	経済状態の確認				生保申請に向けた情報提供	通院公費負担の申請	

退院後のサービス内容

	実施・紹介	目的・内容・時期など		担当職種
		実施	紹介	
ミーティング	実施・紹介・無	退院1ヶ月後をめぐりに病状や生活の状態を評価		Dr.Ns,CW,PSW,DC,訪問スタッフ、ヘルパー、保健師
訪問看護	実施・紹介・無	1~2週に1回		訪問スタッフ
ヘルパー	実施・紹介・無	必要と本人の意向に応じて		PSW,生保CW
社会復帰施設	実施・紹介・無	3ヶ月~半年後をめぐりに状態に応じて		PSW,DCスタッフ
その他	実施・紹介・無	危機対応のクライシスライン(電話)		病棟Ns



貴院における事例の治療・ケア手順

事例2

担当職種	内容	時間軸						6ヶ月目	退院
		退院に向けた取り組みの開始時	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目	5ヶ月目		
	検査・診断								
	薬物治療								
	精神療法	不安の軽減、短期・長期的な目標の確認					退院・施設利用についての動機付けの強化		
	生活技能に関する関わり(SSTなど)	日常生活援助、OT		病棟プログラム(料理教室、生活クラブ)					
	心理教育・服薬指導	自己管理の継続	服薬教室(毎週1回・4回1クール)						
	家族介入	おぼとの合同面接・協力体制の構築	家族教室(2週に1回・3回1クール)	家族会(しいのみ会)への参加を促す			おぼとの合同面接		おぼとの合同面接
	院内手続	病棟カンファレンス(方針の確認)					病棟カンファレンス(方針の確認)		退院前カンファレンス
	院外手続	手帳の申請、年金申請の検討						施設入所申請	施設への外泊・試験利用
	その他	経済状態の確認、後見人申請の検討							

退院後のサービス内容

	実施・紹介	目的・内容・時期など	担当職種
ミーティング	実施・紹介・無	退院後スタッフが施設へ出向いてのカンファレンス	Ns、ケアワーカー、PSW
訪問看護	実施・紹介・無		
ヘルパー	実施・紹介・無		
社会復帰施設	実施・紹介・無	退院後直接入所	Dr.Ns、ケアワーカー、PSW
その他	実施・紹介・無		

貴院における事例の治療・ケア手順

事例3

担当職種	内容	時 間 軸					3ヶ月目	退院
		2週目	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	退院		
	検査・診断	退院に向けた取り組みの開始時期						
	薬物治療	寛容・活動性の向上を 目指した薬物療法の 検討						
	精神療法	寛容・活動性の向上を 目指した働きかけ	短期的・長期的目標の 設定		退院後の生活の具体 化	病状管理・危機対応に ついて		
	生活技能に関する 関わり(SSTなど)	日常生活援助・OT 段階的な服薬自己管 理(まずは膏かご管 理)	服薬教室(毎週1回:4 回1クール)	ボックス管理、個別の 服薬指導	病棟プログラム(生活 クラブ)	試験外泊		
	心理教育・服薬指導	家族合同面接(定期的 な家族セッション)	家族教室(2週に1回: 3回1クール)	家族SSIT(病院全体の プログラム)	ベトナム自己管理 家族会(しいのみ会) への参加を促す			
	院内手続	病棟カンファレンス(方 針の確認)				退院前家族合同面接 退院前カンファレン ス、入院中のデイケア 利用		
	院外手続	手帳・年金の申請の検 討						
	その他	経済状態の確認				退院前訪問	退院公費負担の申請	

退院後のサービス内容

	実施・紹介	目的・内容・時期など	担当職種
ミーティング	実施・紹介・無	家族合同面接(定期的)	Dr.Ns,ケアワーカー、 DCスタッフ、PSW
訪問看護	実施・紹介・無	本人・家族のニーズに応じて	Dr.DCスタッフ、訪問ス タッフ
ヘルパー	実施・紹介・無		
社会復帰 施設	実施・紹介・無	3ヶ月～半年後をめどに状態とニーズに応じて	Dr.DCスタッフ、PSW
その他	実施・紹介・無		

ID-22 事例1  
 貴院における事例の治療・ケア手順

事例1

担当職種	内容	時間軸					1ヶ月	2ヶ月	退院
		退院に向けた取り組みの開始時期	1week	2week	3week	1ヶ月			
Dr. CP	検査・診断	全職種・チームによるリハビリ診断 アプローチプランの策定		症状変化のチェック		症状・変化のチェック、再査定、プラン確認	症状変化のチェック 身体的検査		
Dr. 薬剤師	心理教育・服薬指導	服薬の負担(身体的、心理的、社会的)の査定		処方再検討		処方の再検討(ケースによってはアボ剤の検討)	処方の再検討		
Dr. CP	精神療法	自己支持的精神療法		家族との分離不安への対処		家族との分離、ディケアグループに対する不安への対処	病棟チームとの分離や 単身生活への不安への 対処		
PSW、Ns、 OTR	生活技能に関する関わり(SSTなど)	2F会(大グループ) モーニングミーティング		生活クラブ	生活クラブ	生活クラブ	生活クラブ		
Ns, Dr., PSW	心理教育・服薬指導		服薬教育	服薬教育	服薬教育	服薬教育	服薬教育		
Dr., Ns., PSW	家族介入	家族意向確認、家族教室への動機付け	退院先の決定			家族教室	退院カンファ?		
Dr., PSW, Ns	院内手続					ディケア、日中の過ごす場所の体験	退院カンファレンス		
PSW, Ns, Dr	院外手続		地域スタッフの連絡			アパート探し、併症一般科病院決定	外泊訓練 退院前訪問		
PSW, Ns, Dr	その他		日中の活動場所を探す						

退院後のサービス内容

	実施・紹介	目的・内容・時期など	担当職種
ミーティング	実施 ・ 紹介 ・ 無		
訪問看護	実施 ・ (紹介) ・ 無	服薬管理、生活上の不安の軽減、退院計画立案時に実施	Dr. Ns, PSW
ヘルパー	実施 ・ 紹介 ・ 無		
社会復帰施設	実施 ・ (紹介) ・ 無	利用意志、があれば紹介	Dr. Ns, PSW
その他	実施 ・ (紹介) ・ 無	通院費公費負担の申請	Dr. Ns, PSW

事例2

担当職種	内容	時間軸					2ヶ月	退院
		1 week	2 week	3 week	1ヶ月	2ヶ月		
	検査・診断	退院に向けて、取り組みの開始時期のロワー・プランの策定	症状変化のアセスメント	症状変化のアセスメント・退院先の選択	症状変化のアセスメント	症状変化のアセスメント		
	薬物治療	陰性症状のアセスメントに基づく処方再検討	処方再検討	処方再検討	処方再検討			
	精神療法	支持的行動療法・小集団行動療法の検討	単身生活の孤立感、不安への取り組み	新しい環境への不安		支持チームとの分離不安への取り組み		
	生活技能に関する関わり(SSTなど)		生活クラブ	生活クラブ	生活クラブ			
	心理教育・服薬指導	服薬自己管理	言語的小グループ	言語的小グループ	言語的小グループ	服薬教室		
	家族介入	家族の意志確認	家族教室への呼びかけ				家族教室の継続	
	院内手続	本人ゴール設定					退院カンファレンス	
	院外手続		地域スタッフとの連絡、PHNなど			カンファレンス、ダイヤOT検討、訪問看護		
	その他					訓練施設見学、作業所・ホームヘルプの検討	申し込み	

退院後のサービス内容

	実施・紹介	目的・内容・時期など	担当職種
ミーティング	実施・紹介・無		
訪問看護	実施・ <u>紹介</u> ・無	SOSを早期発見する。	
ヘルパー	実施・紹介・無		
社会復帰施設	実施・ <u>紹介</u> ・無	生活能力の向上	
その他	実施・ <u>紹介</u> ・無	退院後の日中サポート資源	

ID-22 事例3  
貴院における事例の治療・ケア手順

事例3  
ゴール自宅(就労)ENT

担当職種	内容	時間軸					1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	退院
		1week	2week	3week	1ヶ月	2ヶ月				
	退院に向けた取り組みの開始時期									
	検査・診断	全職種・チームによるリハビリ診断、アプローチプランの策定	症状変化のアセスメント	症状変化のアセスメント	症状変化のアセスメント	症状変化のアセスメント	症状変化のアセスメント	症状変化のアセスメント	症状変化のアセスメント	症状変化のアセスメント
	薬物治療	陰性症状のアセスメントに基づく処方再検討	処方再検討	処方再検討	処方再検討	処方再検討	処方再検討	処方再検討	処方再検討	処方再検討
	精神療法	自我強化の為に支持的精神療法、家族セッションの検討	家族葛藤・不安への対処	小集団精神療法の検討						
	生活技能に関する関わり(SSTなど)									
	心理教育・服薬指導									
	家族介入	服薬教室	服薬教室	服薬教室	服薬教室	服薬教室	服薬教室	服薬教室	服薬教室	服薬教室
	院内手続	家族の意志確定	家族教室の呼びかけ	家族合同面接	家族合同面接	家族合同面接	家族合同面接	家族合同面接	家族合同面接	家族合同面接
	院外手続	本人ゴール設定	OT							
	その他		地域スタッフの進路							

退院後のサービス内容

	実施・紹介	目的・内容・時期など	担当職種
ミーティング	実施・紹介・無		
訪問看護	実施・ <u>紹介</u> ・無	異常の早期発見	
ヘルパー	実施・紹介・無		
社会復帰施設	実施・ <u>紹介</u> ・無	就労の準備	
その他	実施・紹介・無		

貴院における事例の治療・ケア手順

事例1

担当職種	内容	時間軸					12週目	退院
		退院に向けた取り組みの開始時	2週目	4週目	8週目	12週目		
	検査・診断							
	薬物治療	定期身体検査	非定型抗精神病薬単剤へ調整	非定型抗精神病薬単剤へ調整	非定型抗精神病薬単剤へ調整	非定型抗精神病薬単剤へ調整	非定型抗精神病薬単剤へ調整	
	精神療法	薬剤調整の検討	支持的療法	支持的療法	支持的療法	支持的療法	支持的療法	
	生活技能に関する関わり(SSTなど)	支持的療法	作業療法・SSTの参加	作業療法・SSTの参加	作業療法・SSTの参加	作業療法・SSTの参加	作業療法・SSTの参加	デイケアの参加
	心理教育・服薬指導	統合失調症についての心理教育	1日分薬剤自己管理	1日分薬剤自己管理	1週間分薬剤自己管理	1週間分薬剤自己管理	1週間分薬剤自己管理	
	家族介入	今後のリハビリの説明・家族の意思確認						
	院内手続	経済状態の確認・利用できる福祉制度の確認	院内症例検討会					
	院外手続				住居の選択			訪問看護の打ち合わせ
	その他							

退院後のサービス内容

	実施・紹介	目的・内容・時期など	担当職種
ミーティング	実施・紹介・無	1ヶ月以内で生活の状態、病状などを確認	Ns,PSW,OT,地域スタッフ、生保CW
訪問看護	実施・紹介・無	1-2週で、服薬管理、生活の状態などを確認	PSW or Ns or OT
ヘルパー	実施・紹介・無	本人に利用意志があれば利用	SWからヘルパーへ紹介
社会復帰施設	実施(紹介)・無	本人に利用意志があれば作業所を紹介	SWから紹介
その他	実施・紹介・無		

貴院における事例の治療・ケア手順

事例2

担当職種	内容	時間軸				
		4週目	8週目	12週目	16週目	24週目
	退院に向けた取り組みの開始時					
	検査・診断					
	薬物治療	非定型抗精神病薬単剤への調整	非定型抗精神病薬単剤への調整	一日一回就寝前に調整	一日一回就寝前に調整	
	精神療法	支持的精神療法	支持的精神療法	支持的精神療法	支持的精神療法	支持的精神療法
	生活技能に関する関わり(SSTなど)	作業療法・SSTの参加	作業療法・SSTの参加	作業療法・SSTの参加	作業療法・SSTの参加	作業療法・SSTの参加
	心理教育・服薬指導	統合失調症についての心理教育	1日分薬剤自己管理	1週間分薬剤自己管理	1週間分薬剤自己管理	1週間分薬剤自己管理
	家族介入	今後のリハビリの説明・家族の意思確認				
	院内手続	院内症例検討会				
	院外手続					社会復帰施設への体験入所
	その他					

退院後のサービス内容

	実施・紹介	目的・内容・時期など	担当職種
ミーティング	実施・紹介・無	1ヶ月以内で生活の状態、病状などを確認	Ns,PSW,OT,地域スタッフ、生保CW
訪問看護	実施・紹介・無		
ヘルパー	実施・紹介・無		
社会復帰施設	実施・紹介・無	本人に利用意志があれば作業所を紹介	SWから紹介
その他	実施・紹介・無		

貴院における事例の治療・ケア手順

事例3

担当職種	内容	時間軸					退院
		2週目	4週目	8週目	12週目		
	退院に向けた取り組みの開始時						
	検査・診断						
	薬物治療	非定型抗精神病薬単剤へ調整	非定型抗精神病薬単剤へ調整	一日一回就寝前に調整	一日一回就寝前に調整		
	精神療法	支持的精神療法	支持的精神療法	支持的精神療法	支持的精神療法		
	生活技能に関する関わり(SSTなど)	作業療法・SSTの参加	作業療法・SSTの参加	作業療法・SSTの参加	作業療法・SSTの参加	作業療法・SSTの参加	デイケアの参加
	心理教育・服薬指導	統合失調症についての心理教育	1日分薬剤自己管理	1週間分薬剤自己管理	1週間分薬剤自己管理	1週間分薬剤自己管理	
	家族介入	今後のリハビリの説明・家族の意思確認	家族会への参加の勧め				
	院内手続	経済状態の確認・利用できる福祉制度の確認	院内症例検討会				
	院外手続						訪問看護の打ち合わせ
	その他						

退院後のサービス内容

	実施・紹介	目的・内容・時期など	担当職種
ミーティング	実施・紹介・無	1ヶ月以内で生活の状態、病状などを確認	Ns,PSW,OT,地域スタッフ、生保CW
訪問看護	実施・紹介・無	1-2週で、服薬管理、生活の状態などを確認	PSW or Ns or OT
ヘルパー	実施・紹介・無	本人に利用意志があれば利用	SWからヘルパーへ紹介
社会復帰施設	実施・紹介・無	本人に利用意志があれば作業所を紹介	SWから紹介
その他	実施・紹介・無		



貴院における事例の治療・ケア手順

事例3 22才 男性 #1幻覚および異常行動はまずコントロール、#2 post psychotic depression、#3父親の病気に対する理解不足(病気の否認?)

担当職種	内容	時間軸			
		1M	2M	3M	4M
	退院に向けた取り組みの開始時				
	検査・診断			知能検査、性格検査の実施し、日常生活の適応度を見る。	
	薬物治療	・薬物療法はガッチリ、必要なら抗うつ剤併用	・薬物療法はガッチリ、必要なら抗うつ剤併用	・薬物療法はガッチリ、必要なら抗うつ剤併用	・薬物療法はガッチリ、必要なら抗うつ剤併用
	精神療法	自殺注意 父親に対する面接			
	生活技能に関する関わり(SSITなど)	自殺の危険あり安全確保、睡眠食事量の把握、静養、不安への傾聴、他患者との関係援助、家族ケア	外出・泊の訓練振り返り、服薬指導・自己管理訓練、IADLの自立訓練、不安への傾聴、他患者との関係援助、家族ケア	外出・泊の訓練振り返り、服薬指導・自己管理訓練、IADLの自立訓練、不安への傾聴、他患者との関係援助、家族ケア	単独外出・泊訓練、外出・泊の訓練振り返り、服薬指導・自己管理訓練、IADLの自立訓練、不安への傾聴、他患者との関係援助、家族ケア
	心理教育・服薬指導				
	家族介入	家族状況把握	不安、問題への相談	調整	調整 家族参加の調整、保健師など導入
	院内手続			調整	調整
	院外手続		デイケア、訪問看護の導入検討	調整	調整
	その他		作業所、自助グループ参加検討	調整	調整
			調整	調整	調整

退院後のサービス内容

	実施・紹介	目的・内容・時期など	担当職種
ミーティング	実施・紹介・無		
訪問看護	実施・紹介・無		
ヘルパー	実施・紹介・無		
社会復帰施設	実施・紹介・無		
その他	実施・紹介・無		

Ns →PSW → 心理

貴院における事例の治療・ケア手順  
 事例2 36才 女性 S 入院後4年 #1 ホスピタリズム、#2 単身(近郊のおばが財産管理)

担当職種	内容	時間軸			
		1M	2M	3M	4M
	退院に向けた取り組みの開始時				
	検査・診断				
	薬物治療	ルーラン24mg	ルーラン24mg	ルーラン24mg	ルーラン24mg
	精神療法				
	生活技能に関する関わり(SSTなど)	洗濯掃除など、身の回りの清潔を保てる。	作業療法の継続的参加	作業療法の継続的参加 週1回の買い物を作る	作業療法の継続的参加 日常生活の自立を促す
	心理教育・服薬指導				
	家族介入	家族状況、問題の把握	退院先の確保 家族支援検討	退院先の確保 家族支援検討	調整
	院内手続	居場所の検討	援護寮、福祉ホーム、グループホーム、デイケア、作業所、訪問、検討	検討、調整	調整
	院外手続	居場所の検討	援護寮、福祉ホーム、グループホーム、デイケア、作業所、訪問、検討		
	その他		経済的問題の把握	調整	調整

退院後のサービス内容

	実施・紹介	目的・内容・時期など	担当職種
ミーティング	実施・紹介・無		
訪問看護	実施・紹介・無		
ヘルパー	実施・紹介・無		
社会復帰施設	実施・紹介・無		
その他生活訓練施設(みのわ荘)	実施?・紹介?・無?	入居後、自宅復帰に向けて、買い物・調理・掃除等の生活技術を訓練し、合わせて日中の生活リズム及び対人関係の訓練を確保する為にOTに参加し、必要に応じておばを交えて相談してゆく(2~3年)	社会復帰指導員

Ns→薬局→OT→PSW→みのわ荘

貴院における事例の治療・ケア手順

事例3 22才 男性 #1幻覚および異常行動はまずコントロール、#2 post psychotic depression、#3父親の病気にに対する理解不足(病気の否認?)

担当職種	内容	時間軸			
		1M	2M	3M	4M
	退院に向けた取り組みの開始時				
	検査・診断			知能検査、性格検査の実施し、日常生活の適応度をみる。	
	薬物治療	・薬物療法はガッチリ、必要なら抗うつ剤併用	・薬物療法はガッチリ、必要なら抗うつ剤併用	・薬物療法はガッチリ、必要なら抗うつ剤併用	・薬物療法はガッチリ、必要なら抗うつ剤併用
	精神療法	自殺注意 父親に対する面接			
	生活技能に関する関わり(SSTなど)	自殺の危険あり安全確保、睡眠・食事量の把握、静養	外出・泊の訓練振り返り、服薬指導・自己管理訓練、IADLの自立訓練、不安への傾聴、他患者との関係援助、家族ケア	外出・泊の訓練振り返り、服薬指導・自己管理訓練、IADLの自立訓練、不安への傾聴、他患者との関係援助、家族ケア	単独外出・泊訓練、外出・泊の訓練振り返り、服薬指導・自己管理訓練、IADLの自立訓練、不安への傾聴、他患者との関係援助、家族ケア
	心理教育・服薬指導				
	家族介入	家族状況把握	不安、問題への相談	家族教室導入、家族支援検討	家族会参加の調整、保健師など導入
	院内手続				調整
	院外手続		デイケア、訪問看護の導入検討		調整
	その他		作業所、自助グループ参加検討		調整
			社会的、経済的問題把握		調整

退院後のサービス内容

	実施・紹介	目的・内容・時期など	担当職種
ミーティング	実施・紹介・無		
訪問看護	実施・紹介・無		
ヘルパー	実施・紹介・無		
社会復帰施設	実施・紹介・無		
その他	実施・紹介・無		

Ns → PSW → 心理

## 貴院における事例の治療・ケア手順

## 事例1

担当職種	内容	時間軸					2ヶ月目	3ヶ月目(退院)
		1週目	2週目	3週目	4週目	5週目		
Dr	検査・診断							
Dr	薬物治療							
Dr	精神療法							
Ns, OT	生活技能に関する関わり(SSTなど)	SST実地(週1回)、作業療法開始(週1~4回)	SST実地、作業療法継続	SST実地、作業療法継続	SST実地、作業療法継続	SST実地(毎週)作業療法継続	SST実地(毎週)デイケアへ移行	
Ns, PSW, OT, 薬剤師	心理教育・服薬指導	疾患教育学習会参加(1回目) 服薬教室	疾患教育学習会参加(2回目)	疾患教育学習会参加(3回目、4回目)	疾患教育学習会参加(3日間自己管理開始)	疾患教育学習会参加(3日間自己管理開始)	疾患教育学習会参加(5回目で終了) 7日間自己管理	
Dr, Ns, PSW	家族介入	家族面談にて退院先決定	1日間自己管理開始		家族教室(家族への心理教育)	家族教室(家族への心理教育)の継続	家族教室(家族への心理教育)の継続	
Dr, Ns, OT, PSW, デイケアスタッフ	院内手続	カンファレンス 退院前訪問看護手続き			カンファレンス		カンファレンス デイケア手続き	
Ns, PSW,	院外手続	アパルト探し(訪問1)手帳、年金の申請を検討			アパルト入居手続き(訪問2)	家具購入(訪問3) プレデイケア開始	アパルト外泊(2~3回 実地)	
PSW	その他	経済状態の確認	日中の活動場所を探す			訪問看護の利用を検討		

## 退院後のサービス内容

	実施・紹介	目的・内容・時期など	担当職種
ミーティング	実施・紹介・無	1ヶ月以内に、対人関係、家族関係、地域での様子、病状、退院後のサポート体制などについて確認。	Dr, Ns, PSW, OT, 施設関係者、地域関係者
訪問看護	実施・紹介・無	服薬管理が出来るか、清潔面や環境整備が出来ているか、食事は取れているか、金銭管理は出来ているかなどを確認。	Ns, PSW
ヘルパー	実施・紹介・無		
社会復帰施設	実施・紹介・無	本人に利用意志があればデイケア、支援センター等を紹介。	PSWから紹介
その他	実施・紹介・無	通院公費負担の申請。家族教室(家族への心理教育)への参加を継続。	PSW, Dr